

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 どんぐりの森			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～	令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～	令和7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置について、資格要件、実務経験、職員数ともに手厚い配置が実現できており、個別療育に対する支援が充実しています。	日々のミーティングにて職員全員でアセスメントを行い、利用者それぞれ個別に必要な支援、支援内容について共有し、支援を行っています。また、各職員がきめ細やかなかわりについての意識を高く持ち、対応しています。	ミーティング等で活発な意見交換を行い、支援の充実についての意識付けを行います。また、職員の更なるスキルアップを目指し研修受講の機会を設けています。
2	定期的に全職員でモニタリングを行い、現状の様子、成長段階に合わせて支援計画の見直しの必要性を判断し、個々の現状に即した見直しを行っています。	全職員で、様々な情報を考察したうえで利用児のアセスメント、分析を実施し、多角的な視点をもって児童発達支援管理責任者が支援計画の作成、見直しを行っています。	今後も、ひとりひとりの利用児に対して職員全員が理解を深め、チームで意見を出し合い必要な支援を行ってまいります。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在仮説（ブレハブ）での運営なので安全面には十分配慮しているが、部屋数・スペース等限界がある。	仮設運営だからこそ、環境を整え、安全に配慮しながら職員一同、逐一の報告や共通理解のもと課題解決や諸々の改善に取り組んでいます。	
2	家族の方との面談・相談は随時行い、必要な助言等させていただいておりますが、家族・保護者向けの研修等については実施していません。	日々、個別に必要なに応じて随時具体的な助言・支援をさせていただいており、保護者全体に向けての研修については開催はしていません。また、開催日時や研修内容など、保護者の皆さんのご都合や満足を考えるとなかなか難しいということも要因として挙げられます。	今後、研修の機会を設けるかについては、保護者のニーズを把握し精査して検討してまいります。
3	事故防止、マニュアル、緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルをすべて策定し、避難訓練、防災訓練等併設の保育園と合同で実施しております。契約時に「重要事項説明書」で保護者に説明をしていますが、周知に至りにくい現状があります。	すべてマニュアルを作成し、マニュアルに基づいて研修や訓練を実施し備えていますが、マニュアル策定、訓練実施状況の説明が不十分であったと考えられます。	契約時に、各種マニュアルを揃えて提示し、マニュアルについて、また訓練についても説明時間をいままでも十分に確保します。併せて、安全計画の説明についてもモニタリング実施時に行い、不明な点がないかを確認します。